

2008.2.2

カラヤン生誕100周年 ライヴ録音で聴く
巨匠の名演 第1回

プログラム

今回は今年生誕100周年を迎えた世紀の大指揮者、ヘルベルト・フォン・カラヤンの残したライヴ録音を2回に分けてお聴き頂きます。今日はその第1回目です。カラヤンは1908年4月5日にザルツブルクで生まれ、1989年7月16日にザルツブルク郊外アニフの自宅で81歳の生涯を閉じました。言うまでもなく、33年間に渡ってベルリン・フィルの指揮者として君臨し、レコードというメディアを使って膨大な録音を残しました。CDが生み出された時に真っ先に飛びついたのもカラヤンでした。しかし皮肉なことに、これほど録音にこだわったにも係わらず、優秀な録音には恵まれませんでした。カラヤンの真価は生演奏にあったと思いますが、ライヴ録音ではその片鱗を聴き取ることが出来ます。

リヒャルト・シュトラウス (1864~1936) :
交響詩“英雄の生涯” Op.40 ~抜粋

ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
(1973.10.31 NHKホール来日Live)

ジョルジュ・ビゼー (1838~1875) :
歌劇“カルメン” ~ ハバネラ/ジプシーの歌/闘牛士の歌/花の歌

アグネス・バルツァ(メゾ・ソプラノ) /ホセ・カレラス(テノール) /ヨセ・ファン・ダム(バリトン)
ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
(1985.7.26 ザルツブルク祝祭大劇場Live)

ヨハン・シュトラウス (1825~1899) :
喜歌劇“ジプシー男爵” 序曲

ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
(1987.1.1 ウィーン・ムジークフェラインザールLive ~ニューイヤーコンサートより~)

*** 休憩 ***

ピョートル・チャイコフスキー (1840~1893) :
ピアノ協奏曲第1番変ロ短調 Op.23 ~ 第1楽章から、第3楽章から

エフゲニー・キーシン (ピアノ)
ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
(1988.12.31 ベルリン、フィルハーモニーホール)

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト (1756~1791) :
交響曲第39番変ホ長調 K543 ~ 第1楽章から、第4楽章

ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
(1988.5.5 サントリーホール来日Live)

ヨハネス・ブラームス (1833~1897) :
交響曲第1番ハ短調 Op.68 ~ 第1楽章から、第2楽章から、第4楽章から

ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
(1988.5.5 サントリーホール来日Live)